



カミットくん

あいことば 上宇部 2026

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

「しあわせの連さ」

10.09 NO-25

まかせる授業 音楽科編！

本年度、本校の重点取組事項の一つに「まかせる授業の実施」があります。

「まかせる授業」とは、子どもたちの「気づき、つながり、解決していく力」を高めるための手立ての一つとして位置付けているもので、昨年度から全教職員で試行錯誤を重ねながら取り組んでいる授業スタイルです。

今回は、音楽科（専科教諭による3～6年生の授業）で行われている、4年生の学習「ゆたかなひびきを味わいながら、えんそうをたのしみましょう」について紹介します。

この学習では、音色や響きを味わいながら演奏することや、互いの楽器の音や伴奏をよく聴いて音を合わせることをめざして学習を進めています。そんな中で、「子どもたちにまかせる場面」がいくつか仕組まれています。

<まかせる場面>

各学級の生活班を基本とした4～5人のグループをつくり、そのグループで学習を進めます（右写真）。



【その①】グループで練習する際には、楽器演奏が得意な子どもから順に演奏します。その順番も、子どもたちの話合いによって決まっていきます。演奏が得意な子どもはお手本となり、演奏後には困っている友だちに声をかけたり、アドバイスをしたりします。また、周りの子どもたちからも教える声や励ます声が自然と聞かれます。

【その②】上手に演奏することだけを目的とするのではなく、「音を楽しむこと」を大切にしています。グループで納得のいく演奏を完成させることを目標としているため、子どもたちの間に余計な焦りや優劣を意識した様子は見られません。楽しみながら練習を重ね、少しずつみんなが上達していく。そんな温かい学習の時間となっています。

【その③】木琴、鉄琴、オルガン、ハーモニカなどを使ってグループ学習を進めた後は、グループ内で誰がどの楽器を担当するのか、どのパートをどの楽器で演奏するのかなどを話し合っ決めていき、練習を進めグループ演奏を完成させます。



リズムを口ずさんだり、手拍子をたたいたり、楽器を中心に、子どもたちが一つになって学習をしています！

子どもたちは、自然に教え合い、支え合う姿を見せています。一人ひとりよさを生かしながら、みんなで一つの演奏をつくり上げていく過程には、「まかせる授業」がめざす姿が表れています。これからも、主体的に学ぶ姿を大切にしていきます。